

令和4年度 日本大学文理学部個人研究費 研究実績報告書

所属・資格 地理学科・特任教授

申請者氏名 矢ヶ崎 典隆

研究課題		グローバリゼーションに伴うアメリカ西部の農業地域の展開
報告の概要	研究目的 および 研究概要	アメリカ合衆国の西部では、19世紀後半から各地で灌漑事業が進展し、農業地域が形成された。本研究は、グローバリゼーションの地理学の視角から、アメリカ西部における農業地域の展開を俯瞰し、再検討することを目的とした。政府の開発政策、灌漑事業、農業の集約化、移民社会の形成、農業労働力、農業の工業化、グローバル市場との関連性に着目し、人、資本、技術、制度が地域外から導入され、半乾燥地域に先進的な農業地域が形成された過程を明らかにすることを目指した。具体的事例として、テンサイ栽培とテンサイ糖産業を取り上げた。
	研究の 結果	私は今まで、カリフォルニアの移民と農業、灌漑化、土地制度、地域イメージなどの研究を行ってきたが、本研究では研究対象をアメリカ西部に設定した。主要な河川に沿って展開した水路灌漑事業と灌漑地区について、また、農業地域の形成と製糖業の展開を明らかにすることができた。具体的には、コロラド、ユタ・アイダホ、カリフォルニアの事例を把握し、それぞれの農業地域の枠組みにおいて、テンサイ栽培と製糖業に関する類似点と相違点を明らかにすることができた。さらに、砂糖をめぐるグローバリゼーションを検討する枠組みとして、サトウキビ糖回路とテンサイ糖回路を設定し、ローカル、ナショナル、グローバルという地域スケールで考察するという説明モデルを提示することができた。アメリカ合衆国の場合、西部のテンサイ糖生産地域、南部とハワイのサトウキビ糖生産地域が存在する。本研究によって、アメリカ合衆国の地誌に関する新しい知見が得られた。
	研究の 考察・ 反省	新型コロナウイルス感染症の世界的流行が継続し、現地での資料収集を実施することができなかったことはまことに残念である。そのため、今までに蓄積した資料や調査結果を踏まえて研究を遂行せざるを得なかった。こうした制約にもかかわらず、アメリカ西部におけるテンサイ糖産業の地域性とダイナミズムが明らかになったことは貴重な成果であった。また、アメリカ合衆国の地誌学的理解を深めるうえで砂糖に着目することの意義を、またアメリカ西部の農業地域をグローバルに位置づける作業の意義を再認識することができた。なお、研究成果の公表に向けて、地図制作と英文校閲のために研究費を使用できた。今後は、研究成果を公表する作業を進めていくつもりである。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 該当事項なし	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 矢ヶ崎典隆：砂糖と移民から見たアメリカ西部の開拓. 史境, 82 : 1-15, 2023年3月25日, 歴史人類学会.	